

知っておきたい年金のこと

### 不慮のときの 障害年金と遺族年金

国民年金からは、65歳から老齢基礎年金が支給されますが、そのほか、不慮の事故のための障害基礎年金と遺族基礎年金が支給されて国民の暮らしを守ってくれます。

#### 障害基礎年金

障害基礎年金は、障害の原因となった病気やケガの初診日が国民年金に加入中あるいは60歳以上65歳未満の間にある方が、一定の障害の状態になったときに支給されます。

#### 遺族基礎年金

遺族基礎年金は、国民年金に加入中あるいは60歳以上65歳未満の間に亡くなったときに、亡くなった方に生計を維持されていた子のある妻または子に支給されます。

#### 年金受給のための条件

障害基礎年金 遺族基礎年金を受けるためには、初診日等、障害基礎年金では初診日、遺族基礎年金では死亡日・以下同じ）のある月の前々月ま

**東日本大震災義援金等受付状況報告**

多くの皆さまから温かいお気持ちをお寄せいただきありがとうございます。現在の義援金等受付状況をご報告いたします。


6月13日（月）現在：4,201,551円

この数字は、個人や団体の皆さまから日本赤十字社占冠分区へご持参いただきました義援金、役場及びトマム支所窓口を設置した募金箱によりお寄せいただきました金額の合計額です。 日本赤十字社占冠分区 電話56-2122

での「国民年金に加入しなければならぬ期間」のうち、3分の2以上の期間が、保険料を納めた期間または、保険料を免除された期間であるという「保険料の納付要件」(3分の2要件)を満たす必要があります。

詳細は旭川年金事務所（電話0166-725004）へお問い合わせください。

保健福祉課 戸籍担当  
電話 56 2123



## 郊外部での速度超過による正面衝突が多発

二輪車による事故が多発

【運転者の皆さんへ】

スピードダウンの励行を！  
スピードを出し過ぎていると、わずかな運転操作ミスや判断ミスが交通事故につながりますので、走行速度を常に意識し、スピードダウンに心がけましょう。

村民の願いです  
続けよう交通事故死 0 の日  
平成19年2月21日から

**1581日**

SS 平成23年6月20日現在

【運転者の皆さんへ】  
過信は禁物！  
自分の運転技術を過信せず、まずは、バイクと道路環境に慣れて下さい。  
交差点などでの安全確認！  
交差点付近に駐車車両がある場合は、特に見通しが悪くなりますので、より慎重な運転に努めましょう。

グループでツーリングする場合の注意！

●グループで出かける場合は  
○バイクの性能の違い、運転技術の違い等があることを認識して下さい。前のバイクに無理についていくことすると、事故を起こす危険性が高まります。

●事故を防止するために  
○出発前に、目的地や休憩場所等を打ち合わせる。  
○先頭と最後尾にはベテランが位置してゆとりを持って走る等を徹底してください。

セーフティラリー北海道  
2011 参加者募集中!!

みんなで参加して安全運転  
詳細は駐在所まで  
占冠駐在所 56 2110

【同乗者の皆さんへ】  
ドライバーへの気遣い！  
ドライブの様子を見て、疲れや眠気を感じているようであれば、休憩を勧めましょう。



無理な追越しの禁止！  
上り坂やカーブなど、対向車線の安全確認が十分にできない場所での追越しは非常に危険です。  
追い越しが禁止されていない場所でも、追越しには危険が伴いますので、無理な追越しはやめましょう。  
走りやすい道路こそ要注意！  
交通量の少ない平坦な長い直線道路は、視界が一点注視になり注意意識が低下しやすくなります。目は開いているのに寝ているような感覚を感じたら、迷わず休憩しましょう。

# 交通安全

SAFTY DRIVE



## J R石勝線特急列車トンネル内火災 - 北海道広域消防相互応援により消防隊46隊出場 -



平成23年 5月27日  
(金曜日) 21時56分、  
勇払郡占冠村字二二  
ウ2953番地の第1二

二ウトンネル内で、釧路19時08分発、スーパーおおぞら14号(6両編成)から火災が発生した。  
現場は占冠支署から14.8kmの地点であった。

### 救急出場状況(5月分)

急病	4件	(4人)
火災	1件	(4人)
その他	1件	
5月計	6件	(8人)
累計	59件	(72人)
( )内は搬送人員		

第1出場隊が到着した際には札幌側トンネル坑口から白煙を確認。2名がトンネル内に進入し内部検索を実施。既に乗客は札幌側坑口の空き地に避難しており、乗客のほとんどの顔が黒ずみ、咳き込んでいる人や嘔吐する人が多数おり、トンネル内の凄まじさを物語っていた。

この火災で46隊142名が現場に集結し、占冠消防団においても20名が招集され大型水槽車1台と後方支援として3隊が出場した。



一時避難場所として占冠村コミュニティプラザが解放され、約200名が救急車や輸送バス(占冠村)パトカーで運ばれた。

この火災において死者が出なかったのは、「こんなところでは死ねない」避難の際に乗客一人ひとりが声を掛け合いながら励ましあい、持っていた飲み物を共有し、互いに協力し合った事が要因の一つである。また、この列車には研修会の出席のため医療関係者(医師・看護師・その他)数名が乗車しており、避難した現場で治療に当たっていた。歩けない人を背負いながら、もう一人の手を引いて避難した医師もあり、自らが被災者であるのに関わらず、その使命感と勇気ある行動に感服するものであった。



火災の原因は現在調査中であり、火元と思われる車両の徹底した調査が行われている。